

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果									
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営基盤（金融・税務・経営・経営・労働・共済等）の安定強化に向け、積極的に巡回指導を行い、潜在的な経営課題の解決を図る。	巡回指導 実企業数69（内非会員5） 延企業数149（内非会員5） 窓口指導 実企業数106（内非会員3） 延企業数253（内非会員3） 創業窓口指導・実企業数1（内非会員1）、延企業数1（内非会員1） 課題解決提案 20	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 100.8%)	400	実績数値	403	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	20	実績数値	20	小規模事業者の良き相談相手として情報の提供と、企業の相談事を伺い適切な指導業務を実施する。併せて経営改善支援及び各種施策普及を図ることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	管轄エリアが160km ² と広域にわたる為、積極的な巡回展開による会員ニーズの把握と、潜在的な相談案件の掘り起しをしつつ、窓口相談件数の増加に向けた利用促進を呼びかけていく。
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行うことにより、適正な税務申告や経理の自計化がなされるようになるほか、計数管理によって経営力の向上に結び付ける。	記帳指導対象事業者数 79 延べ指導回数 877 指導日数 445 詳細は、別紙（様式14-8記帳継続指導実績表） 確定申告受付数：105	小規模事業者のうち個人事業者（法人を除く）	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0%)	79	実績数値	79	指標	確定申告書受付数 (達成度 95.5%)	110	実績数値	105	定期的な指導により記帳指導対象者のすべてが期限内申告をすることができた。税務関係の届出書等についても期限内に提出することができた。また顧問税理士による個別講習会では、事業継承、新規開業、譲渡所得等の特別な事例について個々の状況に応じた細やかな指導をすることが出来た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	遅滞なく記帳事務を行う習慣と適正な帳簿作成の仕方等を身につけてもらうよう定期的な指導をしているが、まだまだ個人差があるため更なる指導が必要と思われる。
講習会事業	小規模事業者が抱える経営上の問題点に対して実務的な講習会および個別相談会を開催する。	集団指導・5回 延べ指導者数156人（内、経営革新 1回3名） 個別指導11回 延べ指導者数 113人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 90.3%)	298	実績数値	269	指標	満足度 (達成度 %)		実績数値		経営者としての資質向上及び経営力の向上に貢献できた	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	消費税増税、軽減税率の導入他、多様化する経営環境と小規模事業者のニーズに対応するため常に情報の収集に努める
若手後継者育成事業	商工業の後継者である青年、若手後継者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会、研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を図る。	青年部を中心として少子高齢化が進む当山間地において、広く地域外にもビジネスチャンスを求める為のIT活用技術についてセミナーを5回開催。Googleアナリティクスを使用したアクセス解析手法等を学び、自身のホームページの改善点の抽出に取組んだ。実企業数15名、延企業数28名が参加。	青年部・女性部	指標	参加者数 (達成度 125.0%)	12	実績数値	15	指標	満足度 (達成度 120.0%)	80	実績数値	96	IT研修会を通して、資質の向上と情報伝達を図り経営意欲を高め経営基盤の強化に貢献できた。また、アクセス解析手法を学び、各事業者のホームページの改善点を知ることで魅力あるものにする為のポイント等考える良い機会となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	ビジネスチャンス拡充に向けて引き続き効果的なIT活用セミナーを開催し、必要な知識を身に付けるとともに地域活性化に取り組んでいく。
青年部・女性部事業	事業の基盤を支える青年や女性の育成のための研修会や親睦会を開催し、資質の向上と組織の強化拡大を図り、商工会事業への協力・参加を推進する。	青年部は160km ² という広い旧ぬかた地区内にあって、部員間の距離を近づける為、部員間や他団体との交流事業に力を入れてきた。また、今期は、県外視察研修の実施により、部員一人一人の見聞を深めるとともに全国統一事業の“絆”感謝運動として新東名IC出入口に繋がる国道沿いの清掃活動にも取り組み、部員間の絆を深めた。女性部は部員同士の結束を高める目的で、ボウリング大会や講習会等を行った。	青年部・女性部	指標	指導事業所数 (達成度 101.5%)	65	実績数値	66	指標	満足度 (達成度 %)		実績数値		様々な会合や研修会を通じて、資質の向上と情報伝達を図り経営意欲を高め、経営基盤を強化した。さらに地域社会との交流やボランティア活動をして、地域活性化に寄与した。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	事業経営環境の厳しい中、青年部・女性部事業への参加意欲が向上する取り組みを進め、今後も組織の強化、事業推進に力を入れていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考	
青色申告会関係事業	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	① 支部役員会を開催（6月20日） ② 支部役員会を開催（6月20日） ③ 定期総会に合わせて、商工会と共同開催による「夏期源泉所得税納付事務説明会」を開催（7月5日） ④ 商工会と共同開催による「年末調整事務説明会」を開催（1月8日） ⑤ 岡崎税務署管内青色申告会定期総会への参加（6月5日） ⑥ 岡崎税務署管内青色申告会理事会への参加（3回） ⑦ 岡崎税務署管内青色申告会研修会への参加（1回） ⑧ 新規青色申告者の加入推進 ⑨ 支部会員日帰り研修開催（9月25日） 青色申告会加入件数：134	小規模事業者のうち青色申告者	指標 青色申告会加入件数 (達成度 97.8 %)			指標 (達成度 %)			日々の記載から納税までをサポートし、税務知識の向上をはかり自計による決算・確定申告を目指します。また個人事業者の立場から公正で公平な税制の創設を目指して税制改正運動を行い、小規模事業者が住みやすい社会環境の実現に向けて、強力に運動を推進していきます。		総合評価 A	事業実施側の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	補足 A	目標① 現行どおり	商工会と共同開催する説明会・講習会は、商工会員はもとより商工会員外の青色申告者についても税務知識の向上を図る上で引続き実施が必要と思われる。廃業退会の多い中、新規会員の推進に取組みたい。
				目標数値 137	実績数値 134	目標数値	実績数値	目標達成度 B	必要性 A								実施方法① 現行どおり	
法人会関係事業	会員の積極的な自己啓発を支援する事業を実施し、納税意識の向上を図るほか、企業の健全な発展に寄与する。 また、税務支援団体の活動をサポートすることにより、事業の運営に協力する。	① 法人会役員会の開催 ② 幸田支部との合同研修会 ③ 新規法人企業の加入推進 ④ 地域社会貢献事業・・・ぬかたふるさとまつりへの協賛 法人会加入件数：84	法人事業者	指標 法人会加入件数 (達成度 102.4 %)			指標 (達成度 %)			・ 税務知識の向上 ・ 地域社会への貢献 ・ 税の啓発・租税教育活動の充実		総合評価 A	事業実施側の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	補足 A	目標① 現行どおり	税務支援団体・地域貢献団体の活動を積極的にサポートし最新の税に関する情報提供を計ると共に加入推進を活発に行う。
				目標数値 82	実績数値 84	目標数値	実績数値	目標達成度 A	必要性 A								実施方法① 現行どおり	
労働保険事務組合事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付とその他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを代行することにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の普及促進及び労働保険料の適正な申告納付を図る。	巡回窓口指導を通して労働保険の重要性を説明し、正しい知識の普及促進に努めるとともに、岡崎市六ツ美商工会、幸田町商工会との共同で、平成24年度に設立した建設業の一人親方労災組合の活用により、従業員のない身内のみで事業を営む建設業者についても、一人親方労災組合への加入推進により安心して現場業務にあたって頂ける環境整備を図った。 委託事業所数：63	中小事業主	指標 委託事業所数 (達成度 106.8 %)			指標 (達成度 %)			160km ² という広い旧ぬかた地域では労働保険手続一つをとっても職安・監督署とも距離があり時間的にも労力的にも負担が大きな地区であり、商工会が労働保険事務組合事業を通して担う役割は大きいと考える。また、併せて高齢雇用継続給付をはじめとした各給付金の活用等により、従業員の雇用維持確保に努めてきた。		総合評価 A	事業実施側の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	補足 A	目標① 上げる	引続き安定した雇用環境の維持に向け支援協力を推進していく。
				目標数値 59	実績数値 63	目標数値	実績数値	目標達成度 A	必要性 B								実施方法① 現行どおり	
ぬかたふるさとまつり事業	「ぬかたふるさとまつり」を開催して、各種PRを行うことにより、額田地区の商工業及び地域社会の発展に寄与する。	ぬかたふるさとまつり日時：平成30年11月18日（日）AM8:30～15:30 場所：豊富小学校運動場 来場者数：5000人	岡崎市民及び近隣市町村	指標 入場者数 (達成度 100.0 %)			指標 (達成度 %)			天候にも恵まれ多くの来場者を迎え商工業の発展・農林水産物の販路開拓に貢献できた		総合評価 A	事業実施側の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	補足 A	目標① 現行どおり	旧額田地区をPRする場を提供すると共に産業・観光・文化の発展に大きく寄与する。
				目標数値 5000	実績数値 5000	目標数値	実績数値	目標達成度 A	必要性 B								実施方法① 現行どおり	
共済推進事業	各種共済制度の普及により、中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るほか、企業の健全な育成に資する。	・ 小規模企業共済 122件 ・ 倒産防止共済 6件 ・ 中退共 0件 ・ 中小企業共済 172事業所：565口 ・ その他（特退共 26件）、（火災共済 10件）、（自動車共済 13件）、（福祉共済 6件）、（PL保険 6件）、（ビジネス総合保険 3件）、（業務災害 1件）	中小事業主	指標 各種共済加入件数 (達成度 108.3 %)			指標 (達成度 %)			商工会の自己財源の確保につながることはもとより、事業者の節税を始め体力強化を図り、福利厚生や経営の基盤強化に貢献した。		総合評価 A	事業実施側の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	補足 A	目標① 現行どおり	中小企業共済以外の共済のPRと推進に検討改善の余地があり、今後も継続してPRを行っていく。
				目標数値 700	実績数値 758	目標数値	実績数値	目標達成度 A	必要性 B								実施方法① 現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果			満足度	補足
商業団体指導事業	地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベントを実施するほか、地域通貨「森の健康券」取扱店の拡大等、地域内の消費拡大と地域経済の活性化を図る。	・森の健康券登録店 54件	中小事業者	指標 地域通貨券取扱店数 (達成度 135.0 %)	40	実績数値	54	指標	(達成度 %)	地域内の消費拡大と地域経済の活性化に貢献できた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	景気低迷の中、地域社会全体の活性化につながるよう引き続きの支援協力を推進していく。
関係団体指導事業	各種業界団体・組合の活動をサポートして、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	○額田木材製材業組合13名 役員会3回開催 県内視察研修会10名参加 額田村の販路の開拓 山林の安全管理(間伐)労働災害防止研修安全パトロールの実施 若手会打合せ7回開催 ぬかたふるさとまつり・市民祭(農林業祭)への参加と木材の普及 ○額田繊維小売協同組合4名 第47期通常総会開催 中学校・各小学校・保育園夏服販売及び作業 中学校・各小学校・保育園冬服販売及び作業 ○岡崎食品衛生協会額田分会42名 食の安全、安心をモットーに保健所の指導を得ながら、地区の食品取扱い業者を指導。 ○ぬかたグッディ会8名 商店街ポイントカード事業	額田木材製材業組合(素材、製材業者)13名 額田繊維小売協同組合(衣料品小売業者)4名 岡崎食品衛生協会額田分会(食品取扱い業者)42名 ぬかたグッディ会8名	指標 各種業界団体・組合の構成人数 (達成度 104.7 %)	64	実績数値	67	指標	(達成度 %)	・販路開拓や売上向上を見込める有益な情報提供をするほか、組合・協会の適正な運営に貢献できた。 ・労働災害の防止と職場の安全衛生管理の向上に貢献できた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	各関係団体の適正な運営・管理を維持するための指導や、有益な情報提供をするなど、継続的な事業実施が必要である。
街路灯設置・維持管理事業	街路灯の維持管理による商店街の美化によって商店街区の活性化を図る。	街路灯のLED化を実施したため、商店街の美化向上につながり、電気料金の支払額を抑制することができた。 街路灯設置数：38	地区内事業者	指標 街路灯設置数 (達成度 100.0 %)	38	実績数値	38	指標	(達成度 %)	商店街の美化向上され顧客を誘致し、商店街区の活性化が図られた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	街路灯のLED化により、電気料の抑制ができていたが、電気料の高騰など課題もあり、事業者への過大な負担増とならないよう、今後も維持管理できるよう事業を実施していく。
福利厚生事業	中小・小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の健康診断を実施する。	健康診断助成金手続き(79人)	中小・小規模事業者の家族及び従業員	指標 健康診断支援数 (達成度 112.9 %)	70	実績数値	79	指標	(達成度 %)	中小・小規模企業経営者及び従業員等の福利厚生事業の促進と、参加者相互の交流等により親睦を図ることが出来た。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	事業所従業員の健康診断の推進、及び福利厚生と各種共済制度の斡旋を進めていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 岡崎市ぬかた商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
部会・委員会事業	商業部会・工業部会などの業種ごとに資質向上に向けた事業を実施し、参加企業の活性化を図る。	(木材部会) 県内先進事例視察研修 ・西垣林業塾 ・豊田市中核製材工場 ・東海木材相互市場大口市場 木育心(トイカ)養成講座参加 市民祭(農林業祭)への参加 ぬかたふるさとまつりへの参加 労働災害防止研修安全パトロール (額田地区観光地化推進協議会) ・連絡調整部会開催6回 ・岡崎城下家康公夏まつり夏だ!ぬかたのわんぱくまつり2018実行委員会4回 ・岡崎城下家康公夏まつり夏だ!ぬかたのわんぱくまつり2018開催 (商業部会) ・おかさきかき氷街道会議18回 【上記 開催回数:34回】	商業部会会員・工業部会会員等	指標 各部会・委員会開催回数 (達成度 340.0 %)			指標 (達成度 %)			参考となる先進事例を研修することができ、また部会員間の交流と情報交換が図られた。また、地域内に開設されたI Cを通して、額田地区に多くの方に来所頂けるよう観光地PRに取組んだプロモーションビデオが完成し、初めての夏祭り開催とともに地域の活性化に貢献できた。 また、おかさきかき氷街道をブレイブしたことで、当地区のPRができ地域活性化を図ることが出来た。		総合評価 A	事業評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	情報収集を図りたい事業に応じて視察研修を実施予定。額田地区の観光地化に向けた取組みを進めていく。
				目標達成度	必要性	現行どおり	実施方法①												
				A	A	現行どおり													
情報化推進事業	インターネットによる情報化通信技術を活用して、地区内小規模事業者の情報力を高めることにより、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得など商工業の活性化に寄与する。	ホームページ更新回数 ・代行分25回 ・商工会分5回	小規模事業者	指標 ホームページ更新回数 (達成度 120.0 %)			指標 (達成度 %)			地区内小規模零細事業者の情報力不足の改善、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得など商工業の活性化。		総合評価 A	事業評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	適時に情報の提供ができるよう更新作業を行う。
				目標達成度	必要性	下げる	実施方法①												
				A	A	現行どおり													

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。